

1・6 調査研究に対する外部評価

当所の調査研究に対して、外部からの意見を聞きながら県民ニーズなどに合致した効率的で効果的な研究業務の遂行とその透明性の確保を目的に実施。

年 月	調 査 研 究 課 題	成果評価*	コ メ ン ト
20年11月	火山性河川水に由来する化学成分の地下水における挙動（調査研究期間：H16～H19）	高く評価できる	<p>貴重で専門的なデータとその解析であるので、県民に良くわかる形でフィードバックに努める必要がある。</p> <p>この調査・研究が私たちの生活にどれほど必要かつ関連しているか、研究所でどのような業績を上げているかを分かり易く広報することが必要である。</p> <p>地下水の実態を詳細に解析してあるが、対策に結びつけるためには、未だわからないことがある。また、地下水の実態把握などの調査は、短期間ではわからない面もある。調査・研究を何らかの形で継続する必要がある。さらに、各物質等の動態を検討して解析するためにも、調査方法についてもっと色々な開発が必要である。</p> <p>農業、産業及び生活等の色々な要素と、この研究・調査の結果が関連している。その面から解析を実施し、その後対策となるので、水質データの解析だけでなく、生活面も含めた社会科学的な調査・研究を視野に入れてほしい。</p>

*成果評価：調査研究の事業終了後に、研究目的の達成状況、行政施策等への寄与度及び県民ニーズへの波及等を評価